報 告 書 抄 録

ふりがな	にんべ・はけいせきだい20ちてんはっくつちょうさほうこくしょ
書名	人部・峡遺跡第20地点発掘調査報告書
副書名	
シリーズ名	朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ番号	第63集
著者名	照林敏郎・林　邦雄
編集機関	朝霞市教育委員会文化財課
所在地	〒351-0007　埼玉県朝霞市岡２丁目７番22号　☎ 048-463-2927
発行年月日	2025（令和７）年３月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積	調査原因
人部（にんべ）・峡（はけいせき）遺跡 第20地点	埼玉県朝霞市宮戸（さいたまけんあさかしみやど） 四丁目（よんちょうめ）706－２、710－17、711－３	11027	008-013	A区 35° 82′ 35″	A区 139° 59′ 49″	2024. 6.11 ～ 2024. 7.25	38.26㎡	道路（歩道）築造

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
人部・峡遺跡 第20地点	集落跡・古墳	縄文時代	なし	縄文土器、石器（打製石斧）	古墳時代前期の住居跡が１軒、古墳の周濠、時期不明の住居跡３軒が検出された。
		古墳時代前期	住居跡１軒	土師器	
		古墳時代後期	古墳周濠１基	土師器、形象埴輪・朝顔形円筒埴輪・普通円筒埴輪	
		中世以降	溝跡２条、ピット４基	磁器、陶器	
		時期不明	住居跡３軒	なし	

要　約

朝霞市宮戸四丁目における人部・峡第20地点の発掘調査報告書である。

道路（歩道）築造に伴う発掘調査であったため調査区は矮小であったが、古墳時代前期の住居跡、古墳時代後期の古墳周濠、溝跡２条、ピット４基、時期不明の住居跡３軒と濃密な遺構が検出された。遺物は縄文土器や石器、土師器、埴輪片が454点出土している。

古墳は内径30ｍ級の規模を持つと考えられ、墳丘は残存していなかった。周濠内から完形の普通円筒埴輪等埴輪は多数出土している。また、生出塚埴輪窯産の埴輪が一定数含まれ、生出塚埴輪窯の埴輪流通経路においても新たな知見を得ることができた。住居跡は古墳に先行することから、集落跡から墓域と当該地における土地利用の一端が確認できた。